

令和4年度

三好中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学習に取り組む態度の育成
- 言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
村上 郁代 (教務主任)	伊藤憲志(校長)久保喜昭(教頭) 森幸子(1学年主任) 西尾美佳(2学年主任・研修主任) 尾関典子(3学年主任)

校長

伊藤 憲志

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていたり、与えられた課題にもまじめに取り組めたりできる生徒が多い。 ●一部の生徒は基礎的・基本的な知識や技能の習得に支援を要し、学力の二極化が見られる。	・各教科における基礎的・基本的な知識や技能を身につける。 ・学習の過程で習得した知識・技能を、既習事項と関連づけて、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・板書やノート指導、タブレットの指導、各教科の課題を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能を身につけさせる。 ・教員の指導力向上のために、相互に授業参観を行う。 ・朝学習で毎日、英語のリスニング練習や動画視聴を行い、英語のリスニング力向上に努める。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを发表或し、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる生徒は多い。 ●課題に応じて、必要な情報等を取り入れたり、自分の考えをまとめたり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。	・自他の意見を比較し、考えを深めることができる。 ・根拠や理由を明確にし、自分の考えをまとめ、自分の言葉で相手に伝えることができる。 ・話を聞いて、質問や意見、感想などを即興でやりとりすることができる。	・生徒が興味をもって学習に取り組めるように発問を工夫する。また、生徒の発言や発表の内容に応じ、「なぜ」「どうして」などの更なる発問を行い、生徒の考えを深めさせる。 ・グループで話し合ったり、個々の生徒が考えをまとめたりする場面では、ホワイトボードや「まなボード」、タブレット等を活用し、表現がしやすく、意見が活発に交換される工夫をする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業へ一生懸命取り組むことができる。また、家庭学習にも真面目に取り組むことができる生徒は多い。 ●メディアの使用時間が長く、家庭学習の習慣が身につけていない生徒もいる。 ●分からないことを先生に質問する生徒が少ない。	・家庭学習の時間を確保し、根気よく継続して取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。 ・授業に真剣に取り組む、わからないことは教師や友達に質問することができる。	・町内統一の「学習の手引き」を活用し、各教科の学習のしかたについて指導する。 ・定期テスト前に、学習計画表を作成し、計画的に学習するよう指導する。 ・CS事業の「放課後質問教室」を月2回開き、主体的に学習に取り組んだり、分からないところを質問したりできる場面を設定する。			

令和4年度 学力向上ロードマップ



